

損害保険会社における ERM とその課題

東京海上ホールディングス株式会社 リスク管理部長 玉村 勝彦 氏

【酒井】 本日は前半、後半、その後パネルディスカッションという段取りで進めさせていただきますが、前半のもう一つのプレゼンテーション、テーマは「損害保険事業における ERM とその課題」ということで、東京海上ホールディングス株式会社リスク管理部長の玉村様よりご講演いただきます。前回中断してしまいましたけれども、最初からまたお願いしたいと思います。では、玉村様、よろしくお願ひします。



損害保険事業における ERMとその課題

2011年5月23日

東京海上ホールディングス株式会社
リスク管理部長 玉村 勝彦

Copyright © 2011 Tokio Marine Holdings, Inc.

0

【玉村】 皆様、こんにちは。東京海上ホールディングスの玉村です。まずは、改めまして、東日本大震災で被災されたすべての皆様にお見舞いの言葉を申し上げます。

今こうしてこのようにこの場に立ちますと、まさに3月11日のことが思い出されまして、私がおこにきてまず見ましたことは、天井にシャンデリアがあるかどうかです。皆さんも多分あのときの記憶がおりだと思ひますけれども、まさにこの場に立っ

ていて、地震が来て、足元もぐらぐら揺れていて、最初はどうかしたのかなと思ひた記憶がございます。あの時も確か植村さんが前のあたりにいらっしやって、「地震、地震！」とおっしやっていただいて、やはり地震なのかと思ひながら、そうこうしているうちに、どなたか、多分この中にいらっしやと思ひますけれども、「玉村さん、上！」とおっしやっていただいて、はっと見たら私の頭上にもシャンデリアが大きく揺れているのです。あのときの恐怖というものは本当に今思ひ出しても恐ろしいものがございまして、それ以来、大きな部屋に入るとシャンデリアがあるかないかをチェックするという日々です。東京にも、天井が落ちたような建物もあると伺っておりますので、本当に改めてリスク管理・危機管理の重要性を認識しています。

よく、あの日はあの後どうしたのかという話を聞かれるのですが、確か2時46分に地震があつて、この会がブレイクしたのが3時過ぎでしたか。東京海上と工業倶楽部は徒歩2、3分の距離ですから、3時15分か20分か忘れてしまいましたけれども、慌てて会社に戻りました。東京海上の赤レンガのビルの14階に私のオフィスがあるのですが、当然エレベーターはとまっています、階段を汗だくになって自分のオフィスに上がって行きました。11階の会議室に災害対策本部が立ち上がっているということをお部下が携帯などで知らせてくれまして、リスク管理部長がいなくてもちゃんと対策本部は立ち上が